

計画の概要を お知らせ

矢巾町地域 公共交通網形成計画

前のページで説明した「デマンド型交通」は、基本方針1実現と目標1-1達成のための施策の一つです。計画では、地域公共交通の環境を整備するための基本方針と目標を決め、各種施策を展開していきます。このページでは、「矢巾町地域公共交通網形成計画」の概要についてお知らせします。

計画の目的

町の公共交通網は、町内や盛岡市への通勤・通学や日常生活の足としての役割を担っています。しかし近年、公共交通利用者が減少したことで路線バスが廃止され、公共交通を十分に利用できない町民が増えています。矢巾町コミュニティバス「さわやか号」においても、町民の求める公共交通ではなく利用しにくいことから、利用者が減少しています。

こうした背景を改善するため、平成28年度から矢巾町地域公共交通会議で検討を重ね、平成30年1月に「矢巾町地域公共交通網形成計画」を策定しました。本計画は、“矢巾町の望ましい公共交通のすがた”を明らかにする『公共交通のマスタープラン』となります。本計画に基づき、地域公共交通をより使いやすく、効率的に運行するため、矢巾町・交通事業者・町民が協力し、様々な施策に取り組む必要があります。そのあるべき姿について示しているものです。

計画の位置付けと期間

本計画は、「矢巾町第7次総合計画」や「矢巾町都市計画マスタープラン」などの上位・関連計画との一体性を確保するとともに、計画期間を平成29～34年度の5年半とし計画を進めていきます。



基本方針

1 持続可能な 公共交通

公共交通利用者や地区に合わせた、新しい公共交通サービスの提供を検討します。

2 利便性の高い 公共交通

運転免許を返納でき、公共交通を使うことで日常生活が送れる移動環境・待合環境づくりを検討します。

3 まちづくりを 誘導する公共交通

利用者や地区とともに公共交通を支えることで、まちづくりに参加できる仕組みや連携方法を検討します。

目標と評価指標

基本方針を踏まえ、地域公共交通の課題の解決するために、以下のとおり目標を設定しました。

目標 1-1

町民が公共交通を利用できる環境にします

- 公共交通ネットワークの再編
- 新たな地域公共交通システムの導入
- 公共交通空白地区の解消

目標 1-2

公共交通の満足度向上を目指します

- 公共交通利用を継続していただける環境の構築
- 公共交通があることによる利便性や安心感の向上

目標 2-1

運転免許を返納しやすい公共交通環境の整備

- 日常生活に不自由のないような公共交通での移動環境の構築

目標 2-2

主要となるバス停の待合環境を整備します

- バス停上屋や待合室の整備
- ベンチの設置などによる待ち時間の不満解消
- 待ち時間を把握できるシステムの導入検討

目標 2-3

鉄道とバスの乗り継ぎ時間を短縮します

- 通勤・通学需要が大きい路線への乗り換え時間の短縮

目標 3-1

公共交通の認知度を向上させます

- 公共交通に対する認識の改善

目標 3-2

公共交通への意識改善や利用者増を促します

- 自発的促進を考えるきっかけの提供
- 普段の移動のあり方や相互理解・協働の考え方の構築

目標 3-3

公共交通に関わる機会を増やします

- 公共交通やまちづくりへの積極的な参加
- 公共交通を支えるための意識醸成

持続可能な公共交通の実現

誰もが公共交通を利用でき、満足度が高く
利用し続けられる環境を構築します

施策メニュー

- ・ 地域公共交通ネットワークの根本的な見直し
- ・ 新たなコミュニティバスの導入
- ・ 公共交通空白地区の解消に向けた「デマンド型交通」の導入
- ・ デマンド型交通導入時の利用者サポート
- ・ 路線バスの利便性向上について
交通事業者と継続的な協議
- ・ 矢巾町地域公共交通会議による
公共交通に関する全体運営の実施
- ・ 具体的なネットワーク決定に関する検討
- ・ 利用状況や施策の取り組みに合わせた
公共交通ネットワークの随時見直し

